

社会福祉 しずおか

4

No.809

特集

県内に広がる住民主体の生活支援サービス
～支え合いのある地域づくりを進めるために～

福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成29年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



★静岡県銀行協会賞

つるみ こたろう
浜松市立気賀小学校(5年) 鶴見 虎太郎 さん
「みんなでつくる やさしい心」
みんなが協力し合ってつくる幸せな町をイメージしました。



★静岡県町村会長賞

はざわら こうた
清水町立清水小学校(3年) 萩原 岬大 さん
「仲良し家族」
地域の和を訴えようとする気持ちが表れている。

※学校名、学年は平成29年度のものです。

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

県内に広がる住民主体の生活支援サービス ～支え合いのある地域づくりを進めるために～

少子高齢化の進展や単身世帯の増加、社会的孤立の拡大などを背景に、ゴミ出し、庭の草取り、電球交換などの生活上のちょっとした困りごとを抱える世帯が増えています。

本号では、このような地域のちょっとした困りごとに対して、近隣の住民や地域の関係者が助け合いを行う「生活支援サービス」の取組について紹介します。

生活支援サービスとは

ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、社会的孤立などの問題の広がりの中で、地域の福祉課題は深刻化しています。

例えば、多くの高齢者にとっては買い物や電球の付け替えなどが難しくなり、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯ではなおさらです。また、乳幼児の子育て中の世帯にとっては、ちょっとした子育ての相談相手がほしいことや、買い物頼みたいことがあります。

このような生活のしづらさに応える支援が身近な地域にあることで、生活の質そのものが高まり、そして、地域のなかでのつながりや交流の場があれば、同じ生活課題や境遇をもった人々の話し合いや助け合いの場になります。

こうした「生活支援サービス」は県内でも広がりを見せています。

今回は、県内の2つの取組を紹介します。

取組事例 ①

**【地域のちょっとした困りごとを地域住民で支援する】
「道悦島応援隊」の取組（島田市）**

地域に住む高齢者からの相談

島田市のJR六合駅周辺に位置する道悦島地区で平成29年1月に地域のちょっとした困りごとを地域住民がお互いに支援する「道悦島応援隊」が誕生しました。

きっかけは、地域包括支援センターに入った「ゴミ出し」「買い物」ができなくて困っているという公営住宅に住む高齢者からの相談でした。

当初は地域包括支援センター主催の「地域ケア会議」で対応を検討していましたが、「同じような状況の人が地域にいるのではないか」「地区内の実態を調査してはどうか」との意見があり、道悦島地区の全世帯を対象とした「地域福祉に関する住民アンケート」を実施しました。

（別表1…アンケート概要）

(別表2-1)
【今の生活での困りごと】
世帯の中で今の生活に困っていることは何ですか

項目	総計
ゴミ出し	14
布団干し	21
話し相手	12
電球交換	18
調理	12
子育て	12
ペットの世話	2
草木への水やり	7
庭の雑草取り	71
その他	37
総計	206

その結果、「今の生活での困りごと」の設問への回答として「庭の雑草取り…71」「布団干し…21」「電球交換…18」の順で多い傾向がありました。

一方で、「ボランティア等への参加」の設問では、61の回答があり、地域福祉活動に対する関心の高さが伺えました。

アンケートの結果から、道悦島地区で生活支援サービスの実施を目指していくことになりました。

(別表2…地域福祉に関する住民アンケート結果抜粋)

(別表1)

アンケート概要	
実施期間	平成27年10～12月
対象世帯	1,675世帯
回答数	726 (回答率43.4%)

生活支援サービスの立ち上げに向けて、まずは、アンケートの結果について地域住民に周知、報告を行う場と、生活支援サービスの立ち上げのための住民学習の場として、「いつでも道悦島地区で安心して暮らしていくための道悦島地区で安心して暮らしていくための講座」を計3回、開催しました。この講座は、本会で実施している「生活支援サービス立ち上げ事業」として、島田市社会福祉協議会と本会が協働で開催しました。

内容は、学識者からの講演や県内外の生活支援サービスの取組事例の

いつでも道悦島地区で
安心して暮らしていく
ための講座

(別表2-2)
【ボランティア等への参加】
日常生活に対する支援組織(ボランティア)があったら、支援に参加して頂けますか。

項目	総計
参加したい	61
参加できない	474
その他	106
無回答	85
総計	726

3回の講座終了後、道悦島地区社会福祉協議会が中心となり「生活支援サービス立ち上げ準備会」を組織し、自治会、民生委員、まちづくり委員会、地域包括支援センター、島田市社会福祉協議会、島田市行政等のメンバーで、立ち上げに向けた具体的な話し合いが行われました。

話し合いの内容は、有償の活動に

道悦島応援隊の誕生

報告、小グループでの話し合いを行い、「道悦島をどのような地域にしていきたいか」「困っている人がいたらどのようなことができるか」などを語ってもらいました。参加者の感想では「講座から実践に移していくため、一歩踏み出したいと思った」「参加して勉強になった。自分にも何か出来ることがあるような気がした」など、前向きな意見を多くいただきました。

講座の回数を重ねるごとに、参加者の思いや活動への意欲が高まってきたのがわかりました。

道悦島応援隊では現在、サポーター登録者…26名、利用登録者…54名の体制で、生垣手入れ、住居の清掃、買い物代行など、月平均27件の有償の活動を行っています。

サポーターからは「お金ではなく、地域のために役立ちたい」「以前から地域のために何か活動ができないか考えていた」などの声が寄せられています。

また、利用者の変化として、サポーターが定期的に訪問することで地域とのつながりが生まれ、表情や雰囲気明るくなった、との報告もあります。

道悦島応援隊の活動

するか、無償の活動にするか、生活支援の範囲はどこまでか、利用者とサポーターの募集はどうするか、活動の名称はどうするかなど、様々な検討事項について、関係者で考えながら決めていきました。

関係者で議論を重ねていき、ついに、平成29年1月に「道悦島応援隊」(事務局…道悦島地区社会福祉協議会)が誕生しました。

活動現場では80歳代のサポーターが70歳代の利用者宅へ支援のため訪問することもあり、「支える」「支えられる」といった垣根を越えた活動も生まれています。

人と人との「つながり」を活動の軸として、地域の孤立や困りごとに対応する道悦島応援隊の取組はこれからも続きます。



取組事例 ②

【高齢者の買い物支援！】
 地域・福祉施設・JAの三者で実施する「とよおか買い物応援隊」の取組（磐田市）

住民ニーズアンケートの実施

磐田市北部の中山間地域に位置する豊岡地区では、数年前に巡回バスが廃止となりデマンド型タクシー（希望の時間帯を予約して、他の予約者と乗合をしながら利用できるタクシー）の運行に変更となりま

した。しだいに、地域の高齢者から「買い物に行けなくなった」との声が大きくなり、地域住民の生活上の困りごとを把握するため、平成26年に豊岡地区社会福祉協議会が住民ニーズアンケートを実施しました。その結果、「交通の便が悪い・56%」「買い物が不便・50%」など、移動や買い物に関する課題が浮き彫りとなりました。

福祉施設、JAの協力

検討を始めてから間もなく、社会福祉法人八生会 特別養護老人ホーム 梅香の里から「法人として地域貢献を検討したい」との相談がありました。地域の移動や買い物の課題について相談したところ、買い物支援の実施にあたり、デイサービス利用者を送迎した後の空き時間での車両の活用

や、梅香の里の地域交流室の利用など、法人側から具体的な提案がなされました。

買い物物の物品については、JA遠州中央の協力を受けることができました。

その後、関係者で打合せを重ねていき、協力先の法人を、梅香の里のほか、社会福祉法人長生会 特別養護老人ホーム 豊仙苑、医療法人社団 白梅会 白梅豊岡ケアホームの3法人に広げていき、参加団体の役割分担を別表3のとおりまとめていきました。

(別表3)

団体名	役割
自治会	チラシの回覧、声かけ
民生委員・児童委員	声かけと送迎利用者の取りまとめ
地区社協、福祉委員	当日のボランティア
JA遠州中央	買い物物の物品を出品
梅香の里、豊仙苑 白梅豊岡ケアホーム	チラシの作成、 利用者の送迎、会場設置



とよおか買い物
応援市の開催

平成28年7月26日、第1回目のとよおか買い物応援市を梅花の里にて開催しました。送迎車利用は10名程でしたが、11名の買い物利用者が訪れ大盛況でした。当日は、梅花の里の独自の取組で足湯や生活相談コーナーなど、買い物以外にも利用者が楽しめる取組も行いました。



第2回目は平成28年12月8日に、豊仙苑にて開催しました。当日の送迎利用は64名、来場者は150名以上で、1回目以上に大盛況でした。その後も継続しており、平成29年12月5日の第5回まで開催しています。

参加者からは、「見ながら買えるのが楽しい」「二人暮らして話し相手がいなので、会話しながら買い物できて良かった」などの反響がありました。また、施設の入居者からは「昔の友達に会えて嬉しかった」との声もあり、施設と地域との交流の場にもなっていました。

アツアツの芋煮でおもてなし!!
家さをもふさぐおしゃべりも楽しめよう!

第2回
高齢者の買い物を応援します!!
12/8(木)10:30~13:00
豊仙苑福祉センター1階

- 野菜・くだもの、惣菜、お弁当、菓子類、衣料品等、出店販売店(遠州中央協働)が集合。
- ゆっくりの買い物、くつろぎスペースでお食事やおしゃべりも楽しめず。
- お子様から高齢者の方までどなたでもお越しください!
- 送迎をご希望される方はお気軽に豊仙苑までご連絡ください。
- 生活相談コーナーもあつちます。

お問い合わせ先
特別高齢者ヘルプセンター 豊仙苑
☎ 0539-62-6158
(平日 10:00~17:00)
〒 410-0001 静岡県 沼津市 豊仙苑

☆とよおか買い物応援隊☆
豊岡地区社会福祉協議会・豊岡市自治会連合会豊岡支所・豊岡地区民生委員児童福祉協議会・豊岡市社会福祉協議会・豊岡地域包括支援センター
JA遠州中央・豊岡市商工会・合同豊岡病院・水郷の家・梅香の里・豊仙苑



【むすびに】
静岡県社協の取組

本会では「生活支援サービス立ち上げ事業」として、市町の社会福祉協議会と協働してサービスの立ち上げに向けた取組を行っています。昨年度は、三島市、島田市、御前崎市、菊川市、掛川市の社会福祉協議会と講座の開催や住民アンケートの実施、自治会関係者との懇談会などを実施しました。

この取組では、「地域住民と共に考えていく」というプロセスを重要な視点と捉えています。

地域住民に福祉や介護の問題を積極的に投げかけ、住民自身で何をしていくか話し合い、その中で、自分たちの地域を自分たちで支えようという自治の意思を醸成し、活動を生み出すことができるよう、話し合いなどの場づくりや学習の機会としての講座等を開催しています。

今後、市町の社会福祉協議会と二緒に生活支援サービスの立ち上げを通じて、支え合いのある地域づくりに取り組んでいきます。

しずおかの地域づくり活動賞 受賞団体紹介

平成29年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金「しずおかの地域づくり活動賞」を受賞した9団体の中から、今回は最優秀賞受賞団体の活動を紹介します。

「特定非営利活動法人 みんなの家」

高齢者・障害者の西伊豆旅行サポートセンター「ラクタビスト」(西伊豆町)

「ラクタビスト」の運営主体であるNPO法人みんなの家は、1999年より西伊豆町・松崎町で高齢者デイサービスを行っています。西伊豆地域は、堂ヶ島をはじめ、リアス式海岸が美しい観光地。リハビリも兼ねて、デイご利用者と毎日のように風光明媚な所へ外出しています。要介護老人を連れての外出を重ねるうちに、外出先のバリアフリー状況について、“障害者目線”で熟知するようになりました。

その経験を活かし、3年前より、西伊豆に旅行に来られる高齢者・障害者のサポート活動を始めました。実際にサポートを行うのは、地域住民の中から養成した有償ボランティア「旅サポーター西伊豆」(1時間800円)。日頃は介護施設で働いている人や、歴史好きの方など様々です。旅サポーターは依頼に応じて、街歩きの際の車椅子介助や、宿泊先のホテルでの入浴介助などを行っています。このような着地型サポートを利用すれば、出発地点からの介助人同行が不要となり、旅費を節約できます。

特にお勧めなのは、水陸両用車椅子を使った海遊びサポート。特殊なタイヤで砂浜もスイスイ進み、そのまま海の中にも入って行けます。海中は浮力が働くため、体の自由な感覚を味わえると、障害旅行者に好評です。

ラクタビストのホームページでは、西伊豆地域のバリアフリー情報も提供しています。

また、受け入れ側のネットワークづくりを兼ねて、「バリアフリー旅行おもてなし講座」も開催しています。

高齢者・障害者にとって、旅は最高のリハビリ。旅行に行けたという自信や、次はあそこに行ってみようという希望が生まれます。是非、西伊豆へ旅行に来て、元気になって下さい！ 地元愛溢れる旅サポーター西伊豆が介助のお手伝いをします。



街歩きサポートの様子



海遊びサポートの様子

ソウェルクラブ (福利厚生センター) ご加入のおすすめ

新規会員 募集中!

会員数 258,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の慶事のお祝い

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈 ●永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院手術見舞金 ●災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村、KKR、グリーンピア、タイロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設・ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●海外研修 ●広報講習会 ●接遇講習会 ●レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会 ●OJTスキルアップ講習会
- ディスニアアカデミー ●コンプライアンス講習 ●e-ラーニング

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

加入要件

- 契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を営業者
- 加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
- 加入対象者…上記事業に従事する役員全員(非常勤職員含む)

※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

掛金

- 第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
- 第2種会員(非常勤職員向け) … 毎年度5千円

※非常勤職員が第1種に入会することもできます。※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル



TEL ☎0120-292-711
FAX ☎0120-292-722
http://www.sowel.or.jp/
社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング

全国約75,000か所の施設を割引価格で利用できる

ソウェルクラブ “クラブオフ”

静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

平成30年6月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み『WEB サービス』(会員対象)を御利用ください! →WEB サービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/member/training>

研修NO.	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師	受講料 会員(非会員)
3	福祉職員 キャリアパス対応 生涯研修課程 チームリーダーコース(中部)	6/19 7/5~6 (3日間)	・シズウエル ・静岡県産業 経済会館	チームリーダー (主任、係長等)	・チームリーダー等の役割を遂行するための基本の習得 ・チームリーダーが自らのキャリアデザインを描く 講師:福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者	1,300円
98	指導者のための 接遇マナーと 部下指導のポイント講座	6/1	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する方	接遇マナーの再確認、指導者能力と部下指導のポイントを学ぶ 講師:株式会社はあもにい 代表取締役 大野 晴己 氏	4,000円 (6,000円)
53	認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー	6/5	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する方	・認知症高齢者に対する介護の見方、考え方 ・認知症高齢者への対応 講師:介護老人保健施設 星のしずく 看護部長 高口 光子 氏	3,000円 (5,000円)
117	人生の最終段階を 迎える方の サポートを考えるセミナー	6/6 (午後)	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する方	死を前にした人に何が出来るか、在宅医療に従事する医師と ともに、そのサポートについて考える 講師:平野医院 医師 平野 周太 氏	3,000円 (5,000円)
33	介護技術講座(基礎編)	6/7~8 (2日間)	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する介護職員	体の仕組みと働きの理解し、ボディメカニクスを活用した基本的 介護技術を修得 講師:静岡県介護福祉士会 飯田 泰子 氏 他	12,000円 (18,000円)
46	急変を見逃さないための 救急講座	6/20	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する方	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識 の習得 講師:日本赤十字社静岡赤十字病院 救急看護認定看護師 池田 朋美 氏	4,000円 (6,000円)
95	権利擁護・ 成年後見セミナー (基礎編)	6/25	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤務 する方	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な 権利擁護・成年後見の基礎的知識の習得 講師:ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	3,000円 (5,000円)

◎最新の「研修開催の情報」を、電子メールで事業所様にお知らせします! kenshu@shizuoka-wel.jp に ①事業所名 ②事業所種別 ③電子メールアドレスを
入力の上、件名「研修開催の情報 メール送信希望」として送信してください。なお、2か月経過しても配信がない場合は、下記研修課まで御連絡ください。

☆詳しくはホームページをご覧ください 問い合わせ先:研修課 電話 054-271-2174

◎県社協が行う自主研修には、皆様の会費を充当しております。

静岡県社会福祉協議会ふれあい基金 助成団体募集のお知らせ

静岡県内のNPO法人やボランティアグループが行う地域福祉・ボランティア活動事業に対して助成を行います。

◆活動推進助成:

地域福祉・ボランティア活動、子育て支援活動に関する事業費に助成 …… **《1グループ 30万円以内》**

◆先駆的(モデル的)活動助成:

今日的な福祉(生活)課題の解決に向けた事業で、事業計画が具体的で一定の成果が期待できる先駆的(モデル的)事業費に助成(書類選考後、プレゼンテーションを実施します) …… **《1グループ 100万円以内》**

◆セルフヘルプグループ活動支援助成:

高齢者や障がい者等が中心となるグループで、自立・自助活動を通じて、地域福祉・在宅福祉の向上に向けた取り組みに助成(市町社会福祉協議会等の推薦が必要です) …… **《1グループ 30万円以内》**

◆東日本大震災に係る避難者交流活動支援活動助成:

東日本大震災に係る避難者又は避難者と地域住民との交流活動に助成(避難者支援に係る市町行政所管課の推薦及び活動への協力が必要です) …… **《1グループ 30万円以内》**

◆しずおかの居場所立上助成:

静岡県内において新たに居場所(こども食堂含む)の開設・運営を行う事業に助成 …… **《1グループ 15万円以内》**

申込締切は**5月7日(月)消印有効**です。

詳しくは本会ホームページをご覧ください <http://www.shizuoka-wel.jp/>

ありがとうございました
県社協への寄附金

静岡銀行ふれあい基金協会の様から「ふれあい基金」へ
276,000円のご寄附をいただきました。(3月2日)



左) 静岡銀行県庁支店 支店長 森田 薫 様
右) 本会 常務理事 松浦 康夫

社会福祉しずおか 広告募集

広告を掲載して、イメージアップ、顧客アップを図りませんか?
掲載紙名：機関紙「社会福祉しずおか」
発行部数：毎月11,300部発行
本会会員(県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業等)、県内小中高等学校等
掲載回数：年1回～毎月(10月を除く)まで
サイズ：ご希望にあった掲載をお選びいただけます。
3タイプのサイズをご用意しております。
詳細についてはお問い合わせください。

問合せ先 静岡県社会福祉協議会 福祉企画部地域福祉課
電話 054-254-5224

施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



特許出願中

**ブラインド・ロールスクリーン
出張クリーニング**



株式会社三ナフ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 フリーダイヤル-ミナフにハロー- 0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(※)		500円	710円

(※)基本タイプ+地震・噴火・津波

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険特約特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。